

"MI²I コンソーシアムワーキンググループ活動趣意書"

平成 29 年 10 月 17 日
コンソーシアム幹事会

I. はじめに

情報統合型物質・材料開発（MI²）イニシアティブはJSTイノベーションハブ構築支援事業として採択され、物質・材料研究の中核的機関である物質・材料研究機構（NIMS）に2015年7月1日付けで構築されたイノベーションハブです。このハブにおけるオープンイノベーション活動の根幹をなすものの一つとしてMI²Iコンソーシアムが2016年4月に設立されました。

コンソーシアム会員は、各自が関心を持つテーマへ情報統合型の研究手法を適用し、新しい手法を利活用するという社会実装を通じて、本イノベーションハブ事業に参画しています。

II ワーキンググループ活動の理念と位置づけ

コンソーシアムの基本理念は『MI²I コンソーシアム 趣意書 -活動の理念』に記載されるように、MI²の真髄である「データ中心主義」と会員の「共有のカルチャー熟成」、「オールジャパンでの取り組みを成功させる」という強い想いを芯に据えています。

平成29年度から、会員の共有のカルチャーを醸成させる取り組みとして、新たにワーキンググループ活動を開始することとなりました。この活動は、共通のMI研究テーマに関心を抱く会員が自主的にグループを形成し、共同作業を行うことで情報統合型の研究手法を導入することを目指すものです。

一つのワーキンググループ活動が連鎖的に複数のワーキンググループの結成を呼び、グループ間の情報共有がさらなる人的ネットワークと技術の拡大を促進し、MI²Iコンソーシアム活動の目指すところの一つである、共有のカルチャー醸成と研究コミュニティの発展に大きく寄与する原動力となるものと期待しています。

III ワーキンググループ活動の原則

ワーキンググループ活動はMI²Iコンソーシアム会則（平成29年5月12日29統合型材料達第3号）に定める会則に従って行うものとします。その上で、ワーキンググループ活動の原則を以下のように定めます。

1. ワーキンググループメンバー：会則に定めるコンソーシアム構成員に限定、

2. テーマ選定などワーキンググループの運営方針：メンバーの総意により決定、
3. 活動内容：コンソーシアム内で公開、
4. 活動の範囲：知的財産権が発生しない範囲、
5. 活動による成果：コンソーシアムイベントにおける報告などを通じて、原則としてコンソーシアム内で共有、
6. 活動に伴う出張、調査などの費用：会員が自己負担。

以上